**説教20231105出エジプト22：20-26マタイ22：34-40「最も重要な掟」**

**愛の神であるイエスキリストは、今日も私たち一人ひとりの名を呼んで、ここに集められました。ことに、今日は、今はこの地上を去ってキリストの身元に居られる召天者お一人お一人と共に礼拝を捧げることが出来ますことに感謝します。**

**私たちは、神がおられる天の国を慕い求めて、今、イエス様と共に信仰の道を歩んでいます。その道はイエス様ご自身によって備えられ、十字架の死を超えて、天の国へと確実に続いています。未だこの地上に生かされている私たちと、既に召天された方々とは、今は顔と顔とを見合わせることは出来ませんが、天の国において、イエスキリストの御前で、再会出来ることは確実なのです。**

**すなわち、私たちの故郷は、この地上にあるのではなくて、天の国にあるのです。私たちのまことの故郷であるその天の国のことを語るには、私一人の力では足りません。そして私一人で天の国を慕い求めても意味がありません。どうか今日語られる言葉の一つひとつが、聞く人の祈りに支えられ、愛を持って聞き届けられますように。**

**私たちを確実に天の国へと導いてくれるのは、神の愛です。私たちがこの地上にあっても、又世を去った後も、生きていられるのは、ひとえに、神さまが私たち人間を愛しておられることによるのです。神様は、殊に貧しくて弱い人たちを愛して救われました。このことは、お金持ちで強い人たちは神様から愛されず救われないということではありません。しかし、強欲で傲慢な人たちは、神さまから愛され救われるということは難しいでしょう。**

**神さまは、全ての人々を愛そうとされています。しかし、人間が持つ罪によって、神さま以外の偶像を愛している人たちに、神さまからの愛が届くことはないのです。彼ら彼女らは神さま以外の物事に夢中になって、神さまのほうを向いていないので、恵みとしての神様の愛を受け取ることが出来ないでいるのです。**

**私たちは、神さまのほうに向き直って、神さまからの愛を恵みとして受け取ることが出来る時、豊かにされ強くされます。しかし私たち人間はこの世の中で、様々な偶像すなわちアイドルを愛してきたがゆえに、今の時代、何が本当の愛なのかがわからない世の中になっています。今は本当に苦難の時代でありますが、貧しくて弱い私たちを決して見放さず、最後まで共に居て愛し続けて下さる主イエスを信じて今日も、力の限り主を賛美してまいりましょう。**

**それでは、聖書に記されています主イエスの愛の御言葉に聞いて参りましょう。**

**マタイによる福音書 22章 35節以下**

**そのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。」**

**愛と言うのは実践であり相手に応答するということです。主なる神は、貧しくて弱い私たちをただただ憐れんで愛して下さいます。そして、悔い改めて、御自分のほうに向き直った人たちには、恵みを豊かにお与えになられます。主なる神は憐み深いからです。**

**そして主なる神から与えられた愛に対する、人間の応答が、主なる神を愛するということです。イエス様はそれを掟として私たちに『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』という御言葉で与えられました。では人間が主なる神を愛するとは、具体的にはどういうことかと言いますと、それはもう主なる神に感謝と賛美を捧げることしかないのです。**

**たとえば、この教会の建物ですが、私たちはこの建物を主イエスの為に、主イエスの住まいとして建てたのではありません。主イエスは人間が建てた建物に住まわれるのではなく、天の国にて父なる神の隣りに座しておられるからです。神様に造られた私たち人間が、おこがましくも主の為に何かをしてあげるということは到底出来ないことでしょう。**

**ですから、私たちが主なる神から愛されていることに対する応答としての愛は、ただただ主なる神に感謝し主なる神を賛美するということに尽きるのです。**

**では次にイエス様がおっしゃることに聞きましょう。**

**マタイによる福音書 22章 39節以下**

**「第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』**

**律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」**

**『隣人を自分のように愛しなさい。』**

**神の愛は、人間の愛とは比べ物にならない程、深くて広いのです。イエス様は、私たち人間の一人ひとりの花婿となるくらい愛情深くて、全てのことを御存じであるお方です。私たちはイエス様に愛されていますが、イエス様と同じくらい深くて広い愛を持って、隣人を愛することが出来るでしょうか。それはとても無理ですと誰しも言いたくなることでしょうが、それでもイエス様は、隣人を自分の様に愛しなさいと私たちに言われているのです。**

**「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」とイエス様は言われました。イエス様はご自分が架かられた十字架のことを覚えておられます。イエス様は嫉妬深く、妬みによって行動する私たち人間の手にかかって十字架に掛けられ殺されました。それでも十字架上で「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか分からないのです」と言われて、罪深い私たち人間を愛されたのです。**

**イエスさまは神の身分でありながら、私たち人間と同じ肉体を纏われてこの地上に来られて、父の御心に従って十字架に架かられて、その愛によって、私たち人間の嫉妬や妬みと言った罪を滅ぼそうとされました。そして今なおそれらの罪の奴隷となっている私たちと共に居て下さって、十字架を示されて、私たちをそれらの罪から解放して、死をも乗り越える永遠の命をお与えになられます。**

**私たちはそんなイエス様にどのような愛の応答が出来るのでしょうか。**

**私たちは果たして「友のために自分の命を捨てること」が出来るでしょうか。**

**私たちは、人として十字架に架かられたイエス様の痛みや苦しみを覚えて、イエス様をいたわることが出来るでしょう。私たちがそのようにイエス様をいたわる時、私たちは隣人としてのイエス様を愛することが出来ているのではないでしょうか。**

**隣人としてのイエス様は何時でもどこででも、私を見守っていて下さいます。これは心強いことです。そして、私が誘惑に陥りそうになる時は、私を見張って、私が悪い道に迷い出さないようにして下さいます。**

**私たちが実践をし、応答する愛と言うのは、小さな愛の積み重ねであります。少なくともこの地上におきましては、私たちはイエス様に見守られながら、隣人に対して小さな愛を積み重ねていくように勧められているのです。**

**何故なら「友のために自分の命を捨てること」という大きな愛が実現をするのは、私たちがこの地上を離れ天に召されるという神さまに定められた時であるからです。**

**私たちはこの地上にあって御言葉に飢え渇いている貧しくて弱い者たちでありますから、元よりそんなに誇れるような愛の業が出来るわけではないのです。但し、いつもいつもイエス様が隣りにいて、私を見守っておられ見張っておられるという信仰は、最後まで守っていかなくてはなりません。私たちはイエス様の見守りの中で、愛の実践に導かれるからです。**

**イエス様は知らず知らずのうちに小さな愛の応答を行った正しい人たちに対し次の様に言って彼らを祝福しました。「お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。」すると、正しい人たちはイエス様に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、イエス様は答えられました。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』**

**以上は聖書から引いてきた話でしたが、私たちが聖書に書いてあるこの話を知っていたとしても、その通り実践できるかどうかは又、別の問題なのです。**

**私たちが隣人に対して実践できるその愛が、だんだんと大きくなっていく、成長していくということは、私たちの信仰生活が喜びを伴っていく事でもあります。**

**先週の乾元美先生による説教の説教題は「信仰によってのみ」ということでありましたが、私たちはイエス様を信じることによって、正しく愛を実践できる者へと変えられていき、そこに愛する喜びがいや増してくるということであります。**

**素より、私たち人間の愛する心は元々、小さく弱いですので、私たちが隣人を愛そうとする試みは、挫折と辛さに日々直面することでしょう。時には与えた愛が報いられないことでかえって憎しみを抱いてしまうと言った本末転倒な振る舞いをしてしまう罪深い私たちであります。しかし、そんな辛い時にもイエス様はこの私を見守り見張っていて下さいます。**

**さて、天の国では、最早、挫折も辛さもそして悲しみもありません。そこでは全てが完成し、永遠の喜び祝福が続いているからです。そこでは、私たちは主イエスのものであり、主イエスをただ賛美するのです。未だこの地上にいる私たちよりも主イエスの近くに居られる召天者の方々は、今や、その喜びや祝福に取り囲まれておられることでしょう。**

**この地上での私たちの歩みは、否応なく挫折や辛さに日々直面をして参ります。でも、そんな私たちを主イエスはいつも憐れまれ、慰められ、苦しみから救ってくださいます。**

**或る意味、主イエスから憐れまれ慰められるという事は、労苦にまみれてこの地上を歩んでいる私たちならでは味わうことが出来る喜びです。その喜びを与えて下さる主イエスへの愛の応答として、私たちは力の限り主をほめたたえて参りましょう。**

**父なる神よ**

**主よ、あなたは今日もこの集会に私たちを集めて下さり、愛の御言葉を聞かせて下さったことに感謝し、あなたを褒めたたえます。**

**どうか、寝ても覚めても、あなたが私たちの歩みを守り、遂に、天の国へと招き入れて下さい。共に天の国への歩みを進める、隣人たちを覚えます。どうか、御子イエスの御言葉によって私たちを守り導き、隣人を自分の様に愛せる心を、常に備えさせてください。久しくお会いしていない隣人への愛を、あなたが守り高めて下さい。**

**今、あなたのみそばで安らって居られる召天者の方々と再び会う日を待望ませて下さい。**

**どうか私たちの内から全ての憎しみ、嫉妬、悪い心を取り除いて下さい。私たちがあなたの愛によって生き、全ての悪から離れ去ることが出来ますよう、私たちの愛を確かなものへと変えて下さい。**